
赤 潮 情 報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
平成18年7月27日

八 代 海 No.2

[1] 7月26日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点で赤潮による着色域は確認されませんでした(全域で大雨による濁りあり)。

有害種については、シャトネラ マリーナが桂島北沖，出水沖，水俣沖，八代海南部中央にて1～3細胞/ml確認され，また，コックロディニウム ポリクリコイデスを桂島東沖において1細胞/ml確認しました。その他，ヘテロシグマ アカシオを桂島西・北沖，獅子島北東沖において，それぞれ1細胞/ml確認しました。

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で25.6～28.5℃で同年同時期よりやや高め，塩分は12.2～26.0で同年同時期よりかなり低め，透明度は同年同時期より低めとなっています。

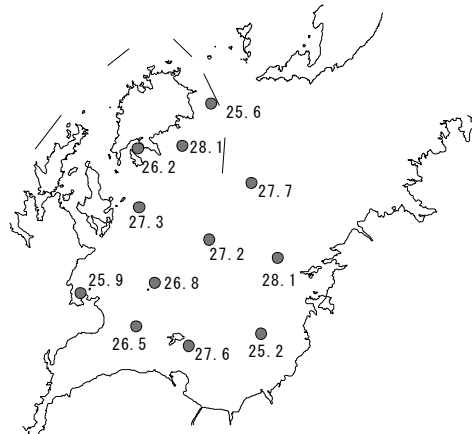
水 温（表層）：平均 27.1℃ (26.1℃)
塩 分（表層）：平均 18.9 (30.9)
透明度 ：平均 4.3m (8.2m)

()はH元～H17年7月の平均値（同平年値）

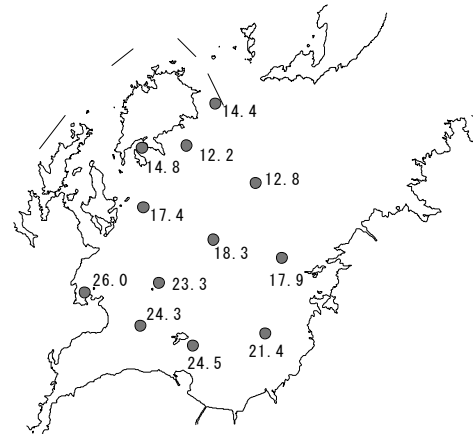
[2] 今後の赤潮発生の予想

数カ所の調査点で有害種が確認されていますが，現時点では細胞数が少ない状況ですので，今後しばらくの間は，有害種による赤潮形成の可能性は低いと考えられます。

ただし，先日の大雨により陸域からの栄養塩類が十分に供給されている状況ですので，今後，シャトネラ属，コックロディニウム ポリクリコイデスについては細胞数が増加する可能性が十分にありますので，定期的に検鏡等によるプランクトンの監視が必要です。



表層水温 (°C)



表層塩分



シャトネラ マリーナ細胞数 ()はコックロディニウム cells/ml

塩分平均 表層：18.9
5m層：28.2
10m層：30.2

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>